

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	寿建設株式会社
-----	---------

安全衛生取組事例

- 1、 厚生労働省・安全プロジェクト「見える安全コンクール」に毎年応募し「優良な活動事例」として紹介されました。
- 2、 インターネットを利用し全従業員が各現場の取り組み事例の情報を共有しています。
- 3、 インターネット配信によるデジタルフォトフレームを使用して安全衛生の情報の共有をしています。
- 4、 本社幹部が毎月交替で『幹部パトロール』を実施し、全作業所でミニ安全大会を開催しています。また、作業所の規模により安全教育の見せ方を工夫し、「見える」安全教育をしています。
- 5、 作業中のヒューマンエラー防止のための「ゆびさし」を習慣化しています。

1、厚生労働省・あんぜんプロジェクト『見える安全活動コンクール』に毎年応募

・社内では現場内での「見える化」に積極的に取り組み、好事例を『見える安全活動コンクール』に毎年応募。平成23年度、27年度には「優良活動事例」に選出されました。

●平成23年度

②危険有害性のある場所、機械、作業、安全衛生上配慮の必要な作業者などについて、注意喚起をする語句、図絵、写真などや光、音などで注意喚起することによりその場所への接近やその機械の使用、作業の実施に当たっての安全対策の徹底を図っているもの。

【優良な活動事例】

**照明用蛍光灯を活用した各設備の識別表示**

(株) 熊谷組

▶ 詳しくみる

**「動」「重」「高」「姿」の喚起**

新中山トンネル作業所 **動くもの**

寿建設 (株)

▶ 詳しくみる

**危険箇所および注意喚起事項の見える化**

4種類のシールで危険箇所を直接見える化

JFEスチール (株)

▶ 詳しくみる

●平成27年度

「腰痛」を予防するための「見える化」

【優良な活動事例】

**人力小運搬の重量物の見える化**

重量運搬ルール  
腰痛防止のために!!

鹿島建設 (株)

実際の重さを体験できて、体での見える化がよい。

**腰痛予防のための「重量物の見える化」**

重量物明示シール(10kg以上)

鹿島建設 (株)

現場で一人持ち上げ禁止重量物を明示した点は効果が期待できる。

**オリジナル動画によるラジオ体操の見える化**

オリジナル動画によるラジオ体操の見える化

(株) 竹中工務店

正しいラジオ体操の見える化した点を評価。

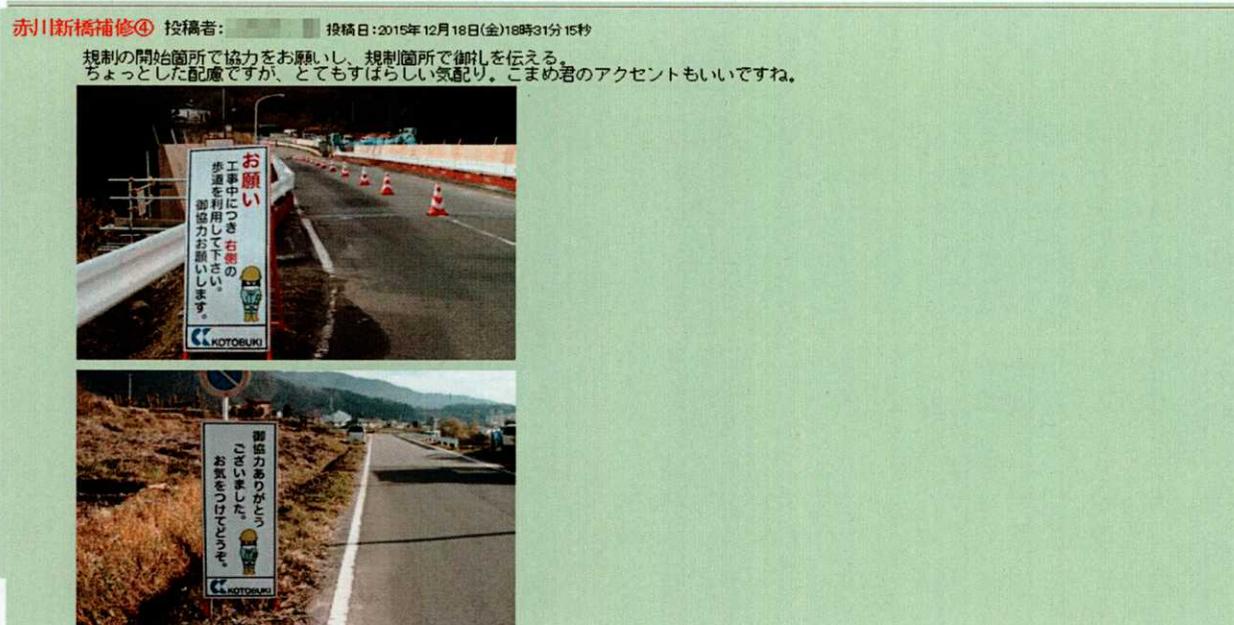
**タイヤ付収納箱を利用した腰痛対策**

寿建設 (株)

しゃがみ姿勢の改善になっている。

## 2、インターネットを利用し全従業員が各現場の取り組み事例の情報を共有

- 社内共有ページで各現場での取り組み事例を随時紹介  
(住民に配慮した工事案内看板の紹介例)



- 自社改善提案制度「私の提案」の事例を社内共有ページで随時紹介  
(トンネル坑内の排水用釜場の改善紹介の例)

## 改善のヒント



提案内容	効果	参考
<p>トンネル工事では使用済みドラム缶を半分切断して釜場等に利用するが、狭くて泥の撤去に苦労するので、通常縦置きで半分位に切断するのを横置きで八分目位で切断して使用してみた。</p> <p>通常のもの      今回作成</p>	<p>通常の釜場より容量が増えたので水中ポンプ回りの清掃が楽になった。また面積が広いので中間に仕切りを入れて一旦砂泥を分離するので目詰まりも減った。</p> <p>↑仕切りで泥砂をふるい分け</p>	<p>社長寸評) 現場内に改善意欲がみなぎっており、あらゆる箇所へ「改善」の目線を光らせているのがよく分かります。「押しでダメなら引いてみな」「縦のものを横にしてみる」というのは、効果の高い手法だと改めて感心するアイデアです。それだけに留まらず、仕切りを入れてさらに違う効果も出すという、「+2」の発想がいいですね。大ヒントの提案です。</p>

- 提案制度の中から生まれた「ブレーカー飛散防止」の安全用品を商品化 (実用新案取得)

## ハツリ・ガード

実用新案登録済 登録第3202047号



＜特徴＞  
・ハツリ作業時の飛散を防止する事により、第三者・作業者の安全に配慮。

・ブレーカーに簡単にセットが出来ます。  
・コンパクト収納が可能、持ち運びが便利です。

＜注意事項＞

・本製品はハンドブレーカーに直接取り付け、飛散の防止を目的とする商品です。それ以外でのご使用は絶対にお止め下さい。  
・商品に傷み・汚れが出てきた場合は、新しい商品に交換してご使用下さい。



土木工事などを手掛ける「はつり建設(福島市)は、建設現場でコンクリートを削る際の保安用品「ハツリ・ガード」を商品化した。新製品が生まれたのは、第一線で働く社員の声がかかった。同社は作業環境の改善や業務の効率化について社員の意見を募り、国道の維持管理業務に従事する大橋秀行さん(39)のアイデアが採用された。

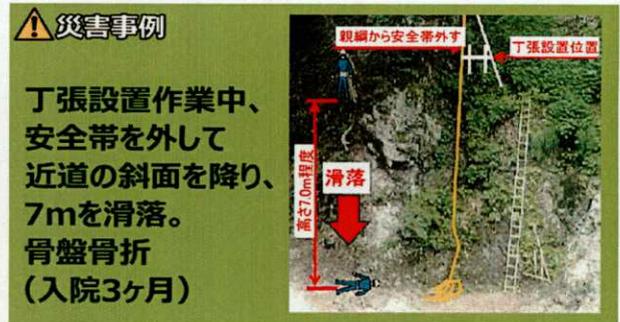
建設 社員提案で保安用品

コンクリート片飛散防止

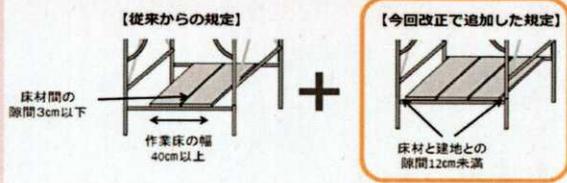
### 3、インターネット配信によるデジタルフォトフレームを使用しての安全衛生の情報の共有

- ・ネット配信型デジタルフォトフレームを現場休憩所に設置し、安全衛生情報や災害事例などを本社から週に1回配信し、休憩時などに閲覧することで安全意識の向上を図ります。

#### ●デジタルフォトフレームと、配信情報の例（毎週2-4枚の情報画像を配信）



**7月1日より足場に関する労働安全衛生規則が変わります！**  
通知に従い確認・改善の実施を！



### 4、本社幹部が毎月交替『幹部パトロール』を実施し、全作業所でミニ安全大会を開催

- ・作業所の規模により安全教育の見せ方を工夫し、「見える」安全教育をしています。

・少人数ではハンディボードで説明



・大所帯現場ではプロジェクター使用



### 5、作業中のヒューマンエラー防止のための「ゆびさし」の習慣化

- ・ヒューマンエラーが重大災害を引き起す可能性のある作業箇所では、「ゆびさし」を習慣化することによりエラーを低減させる取り組みを訓練しています。

